

安保破棄ニュース

No. 473
2016.9.8

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三三三三
FAX 〇六一六七六三三三六
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

沖縄・高江に連帯して



高江ヘリパッド建設中止を求める

署名などのとりくみ強化について

名護共同センターの福山功勝氏から、「高江」の最新報告が届いています。

◇9月3日(土)、「基地の県内移設に反対する県民会議」主催の「一斉行動」が行われました。これは「県民会議」が、反対運動の全県強化を図るために、9月から毎週水曜日と土曜日の早朝動員を増やすことを呼びかけて実現したものです。

集会は午前6時からN1地区ゲート前で行われました。参加者は当初150名程度でしたが、その後続々と詰めかけ4時間後の参加者は400名を超えました。

沖縄防衛局も、大幅に遅れている建設工事を取り戻すため、「H」「G」「N1」の3地区同時着工を考えていますが、計画変更によるやんばりの環境破壊は許されません。連日、県道70号線で見かける光景は異様としか言いようがありません。資材搬入をスムーズに行うため、点滅灯を光らせたパトカー2台が先導し、同じく赤色灯を光らせた黒塗りのワンボックスカーと白色ワンボックスカーがそれぞれ2台続きます。その後ろには装甲車(通称かまぼこ)が10台程度。その後ろに砂利等建設資材を積んだ大型ダンプカーが同数程度続き、その後ろに警察官や役人の乗用車も同数程度。延々と数百メートルにもなるこれらの車列がN1ゲート前を目指し時速40キロで行進してくるのです。私たちはこの行進を「大名行列」と揶揄しています。

世界自然遺産候補地のやんばるに今そんな光景が展開されているのです。

粘り強く勝つまであきらめない私たちのたたかい。県内各地では、砂利を運ぶダンプの沿道住民たちが、スタンディングをして毎日抗議するなど草の根の活動が広がってきています。◇

安倍政権は、「無理が通れば、道理が引込む」とばかりに、警察庁に予算をつけて、大阪府警からも機動隊を参加させ、オスプレイパッドの建設に狂奔しています。県民はあきらめるどころか怒りを増しています。大阪でも「高江の強行工事をやめる」の世論を強めましょう。

1. 国会請願署名の推進

「沖縄・高江でのヘリパッド工事中止を求める」国会請願署名を急速に広げましょう。署名の第1次集約は9月末日とし、臨時国会に提出します。

2. 高江写真パネルの活用

高江の実態を全国に知らせるため、沖縄県統一連制作の写真パネル(1組10枚を活用して、集会や街宣で活用しましょう。貸出料1日2千円)。

3. 現地支援の取り組みを

「百聞は一見にしかず!」団体やグループで高江支援が取り組まれています。中央安保が10月10〜12日に第3回目を実施。11月26日〜28日の中央安保の代表者会議&高江支援に参加しましょう。

4. 防衛大臣、沖縄防衛局長あての要請文、ファックスの送付

稲田朋美防衛大臣

162・8801 東京都新宿区市谷本村町5-1

fax 03・5269・3270

中嶋浩一郎沖縄防衛局長

904・0295 沖縄県嘉手納町字嘉手納290-9

fax 098・921・8168

文例「住民の生活を脅かし、貴重な自然を破壊するヘリパッド建設を、全国の機動隊を動員して乱暴なやり方で強行することは許されぬ。ただちに中止せよ!」

5. 大阪府警に機動隊派遣の抗議要請、府議会会派への申し入れを進めます。

活発な議論で、後半の方針決定



第2回幹事会(2016年後半)が開催
8月26日18:30~
国労会館

今年は、夏の参議院選挙を大きな節として、大阪安保50周年行事、戦争法廃止2千万署名などの運動を進めてきました。それを総括し、9月以降の運動方針を確定するために、上記幹事会が開催され、25人の参加で議案、役員体制などを承認・確定しました。母連の岸上さんや、うたごえ協議会の立川さんが、沖縄を訪問し、たたかいに合流してきた感想から発言、民放労連の吉沢さんから映画「沖縄ぬ思い」の取り組み、AALAの澤田さんが「安保廃棄」の持つ重要性の提起など8人から討論がありました。

役員では、新しく事務局次長に守山禎三氏(大阪労連大阪市地区協議会)が選出されました。

あいは野日米合同演習反対 近畿合同申し入れ行動

滋賀県高島市の中央部に位置する近畿最大の軍事基地、あいは野演習所で、8月29日・9月21日の日程で、日米合同演習が行われています。訓練開始が9月11日で、それまでの期間は、部隊の移動、演習準備の期間だということです。このように、移動・準備期間を含めて、訓練期間とすることは異例のことです。

あいは野での日米合同演習は、1986年以降今回で15回目となります。ここ6年間で5回(2014年以外)の実施で、日米合同演習が「常態化」している状況があります。

「あいは野日米合同演習等の中止を求める申し入れ」行動を、8月24日に近畿の諸団体合同で行いました。行動前に、今回の演習がどのような意味を持つのかなどを、京都平和委員会の片岡さんを講師として学習をしました。

近畿中部防衛局での1時間ほどの交渉には23人が参加しました。今回の演習の内容についてや、なぜ移動・準備期間が訓練期間として含まれているのかなどの質問が生まれ、米兵を街に出さないという希望も出されましたが、対応した防衛局職員は、ほとんどまともに回答することができませんでした。軍部が暴走した過去の教訓から導入された文民統制の形骸化が進んでいることを感じさせられました。アメリカ領事館前での抗議行動も行い、30人が参加しました。それぞれの府県、団体からの訴えがされました。駐大阪・神戸総領事とオバマ米大統領あての申入書は郵送で送りました。

昼からは、陸自中部方面隊への要請行動を行いました。今まで大人数では敷地外での対応になっていましたが、今回は各府県代表だけの参加として、面会室へ通され、業務課指令業務室長が対応しました。その中で、あいは野演習場は中部方面隊傘下では最大の演習場で、各地域の部隊が使い慣れているため、自ずと使用頻度が多くなるということが話されました。また、今回の演習が、奪回制圧訓練の性格が強いということも分かりました。この日の朝に、防衛相が、「駆け付け警護」を含む派遣準備訓練を開始することを発表したことが、自衛隊員の中で話題になっていることも出されました。

9月11日には、高島市今津町・住吉公園で、「日米合同演習反対9・11あいは野大集会」が行われます。11月6日には、京都・京丹後で、「米軍基地いらんちゃフェスタ2016」が行われます。近畿でもこの秋、戦争法の具体化につながる動きに対抗する流れを大きくつくりていきたいと思います。

当面の予定

- 2016年
- 9月
- 9日(金) 映画「校庭に東風吹いて」有料試写会 (ドーンセンター、3回上映)
憲法会議9の日宣伝(17:00~淀屋橋)
 - 10日(土) 「伊波洋一さんと語る会」 (18:30~大阪沖繩会館)
 - 11日(日) あいは野日米合同演習反対集会
 - 15日(木) 「八尾オスプレイ問題学習会」 (19:00~プリズムホール)
府民要求連絡会学習会 (富田宏治氏 19:00~グリーン会館)
 - 17日(土)~19日(月・祝)
Peace Eggin OSAKA 2016
 - 19日(月・祝) 「改憲許すな!戦争法廃止へ! 9・19 おおさか総がかり集会」 (14:00~うつぼ公園)
 - 23日(金) 23 定例宣伝行動 (12:00~淀屋橋)
 - 26日(月) 国会開会日行動 (18:30~中之島水上ステージ、集会後パレード)
 - 27日(火) 府議会開会日行動
- 10月
- 1日(土) 自由法曹団50周年シンポ
国民救援会大阪府本部大会
 - 2日(日) 原子力空母母港化反対横須賀集会 (13:00~横須賀・ヴェルニー公園)
 - 5日(水) 常任幹事会 (10:00~大阪安保)
 - 10日(月・祝)~12日(水)
安保破棄中央 第3回高江行動
 - 21日(金) 23 定例宣伝行動 (12:00~淀屋橋)
憲法会議・共同センター学習会 (18:30~たかつガーデン8階 渡辺治氏)
 - 22日(土)~23日(日) 日本平和大会 in 三沢 (大阪団は21日出発)

23宣伝行動

毎月、23日を中心として、安保破棄大阪実行委員会定例宣伝を行っています。8月の23宣伝行動は8月23日に行いました。少ない参加者でしたが、沖繩・高江の状況が中心のピラと訴えに、通行人の反応は比較的よく、ピラを受け取ってくれる率も高かったです。

宣伝カーに垂らしている、普天間基地のタペストリーに興味を持ち見ていく人もいました。

9月の大阪安保 23 宣伝行動は、9月23日(金)です。いつも通り、12時から淀屋橋で行います。ぜひ多数のご参加をお願いします。

別海町を中心に釧路、根室など地元メンバーを中心に夏の平和の大きなとりくみの場となっています。

会場の周りは、大阪市の面積にほぼ匹敵する日本最大の演習場で、ほぼ毎年米海兵隊の実弾射撃訓練もおこなわれ、そのたびに現地では監視行動がおこなわれています。2013年には着弾地が大きくずれ、民有地に着弾するという事件がおきました。演習ごとに行われる監視行動の中で、音の方角と着弾時間から、着弾地をいち早く推定し、現場のスクープ写真をマスコミへ提供した実績もあります。

全国の闘いに学び、連帯・交流する大阪安保のとりくみは、基地のない大阪では味わえない新鮮な発見を持たられます。そんな中で訪れた北海道。その縁で今年が9回目の参加となった矢白別平和盆おどり。最近、旅の間に寄らせていただく仲間も増えてきました。毎年おいしい「安保のとうきび」の生産農家の高嶋農場、そして大阪からこの北の大地に根付いてがんばる仲間たち、また設置に携わり設営隊のメンバーや地元の方との交流など楽しみと...川瀬さん夫妻、渡辺佐知子さんを見守るように、「大阪安保」の記念樹も風雪に耐え、しっかり矢白別の地に根付きはじめています。

市労組・書記 浜田 敏彦

矢白別平和盆踊り



恒例となった、私の矢白別平和盆おどり

自衛隊は憲法違反と、演習場のど真ん中で国や自衛隊からさまざまな圧力に屈せずがんばってきた川瀬二さん。そしてこのたたかいを励まし連帯し始まった矢白別平和盆おどりは、今年で第52回を迎えました。

川瀬さんが亡くなった後の牧場は、委任をうけ矢白別平和公園として管理されていて、